

学校教育目標

学校教育目標

自分は自分を創る主人公

学校教育目標の実践構想図

学校教育目標	自分は自分を創る主人公		
資力	自立する力	学ぶ力	課題を解決する力 人とつながる力 未来を創る力
目指す児童像	自覚と納得で深く学ぶ 「あたま」の力 【教材・仲間と肯定的に関わり、筋道立てて課題解決を図る子】	より良い自分を創る 「こころ」の力 【自分と仲間の声を聴き、肯定的なつながりを創り出す子】	健康と安全をつくる 「からだ」の力 【“鍛えること” “守ること” を決め、自ら実践する子】
指導の視点	◇基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 ◇思考力・判断力・表現力の育成 ◇主体的・肯定的に学びに向かう力の育成	◇他者を思いやり、全ての命に共感する力の育成 ◇他者や社会と肯定的に関わる力の育成 ◇肯定的なつながりでありたい自分になる力の育成	◇基礎体力の育成 ◇運動習慣と基本的な生活習慣の定着 ◇健康教育・食育・安全教育の充実
実践理念	教職員は、学びの主人公としての子どもを育てる主人公 ～「教材・仲間・自分」3つの対話で、痛みの感覚を磨く～ ◇ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業で子どもと同僚を大切にする ◇ カリキュラム・マネジメントの視点を活用し、チームで子どもを育てる ◇ 見ること・聴くこと・深く想像することで子どもに寄り添い、“痛み”の感覚を磨く ◇ 褒めること・認めること・喜ぶことで、やり抜く力・自制心・協働性を高める		

学びの主人公としての子どもを育てる主人公として

- ① 子どもを育てる主人公としての教職員の3つの対話+子どもの声を聴くこと
- ② 痛みの感覚を磨くこと…「授業で子どもと同僚を大切にする」「見る・聴く・想像する」
「褒める・認める・喜ぶ」「自分の声を聴く」
- ③ 「規律」「秩序」「文化」の3つの状態を学級につくる意識を持つこと
- ④ 真・善・美という価値を使って教育活動の質を高めること